

ふらっとホーム 2013 in 厚別区

札幌の未来を市長と語る



ご存じですか？ “ふらっとホーム”

「ふらっとホーム」は、市民と市長が札幌のまちづくりについて意見交換をする場として、毎年各区で開催されています。
厚別区でも、昨年12月に開催され、「地域のまちづくり」「高齢者福祉」「子ども」の3テーマを中心に、さまざまな意見が交わされました。
このページでは、開催当日の意見交換の様子などを紹介します。

「ふらっとホーム 2013 in 厚別区」の開催概要

実施日：平成25年12月8日

会場：厚別信濃会館（厚別中央4の3）

対話者：8人

※無作為抽出した区民1,500人に案内文を送付し、参加希望のあった方の中から抽選で対話者を決定しました。



こんな意見について話し合われました



厚別南地区 菅野さん

子どもが減って高齢者が多くなっていく中で、公園をもっとうまく活用していくと、**世代間の交流**ができるのではないのでしょうか。スポーツを通じて、地域の交流や世代間の交流をもっと図れるのではないかと思います。

民生委員
のひとり
を行うと
なり手不

<市長から>

世代間交流をするには、集まる場所があることがとても大事。人と人とのつながりができることで安心な社会にもなると思います。家の中に閉じこもるということがないように、体を動かしたり頭を働かせたりするような習慣をつけていくことが必要ですね。



<市長
今、
現在
活動
思っ
一生
お願



厚別中央地区 市田さん

ひとり暮らしの高齢者は、日頃から外出して地域活動に参加したり、地域の人と交流したり、生きがいを見つけることが大切。例えば「おはようコール」といった電話連絡網を回すと、安否確認になるし、催し物などに誘うきっかけにもなるのではないのでしょうか。

子ども
またが
の総合
窓口も

<市長から>

高齢者が元気なうちに密度が高いコミュニティーを地域でつくっておくことが介護予防の面でも大事だと思うので、いろいろなことをしていきたいと思っています。
いつ来ても誰かが居るという感じのスペースがあるといいので、例えば、まちづくりセンターの近くにカフェなどがあれば、地域の皆さんとの連携もとれていいと考えています。

